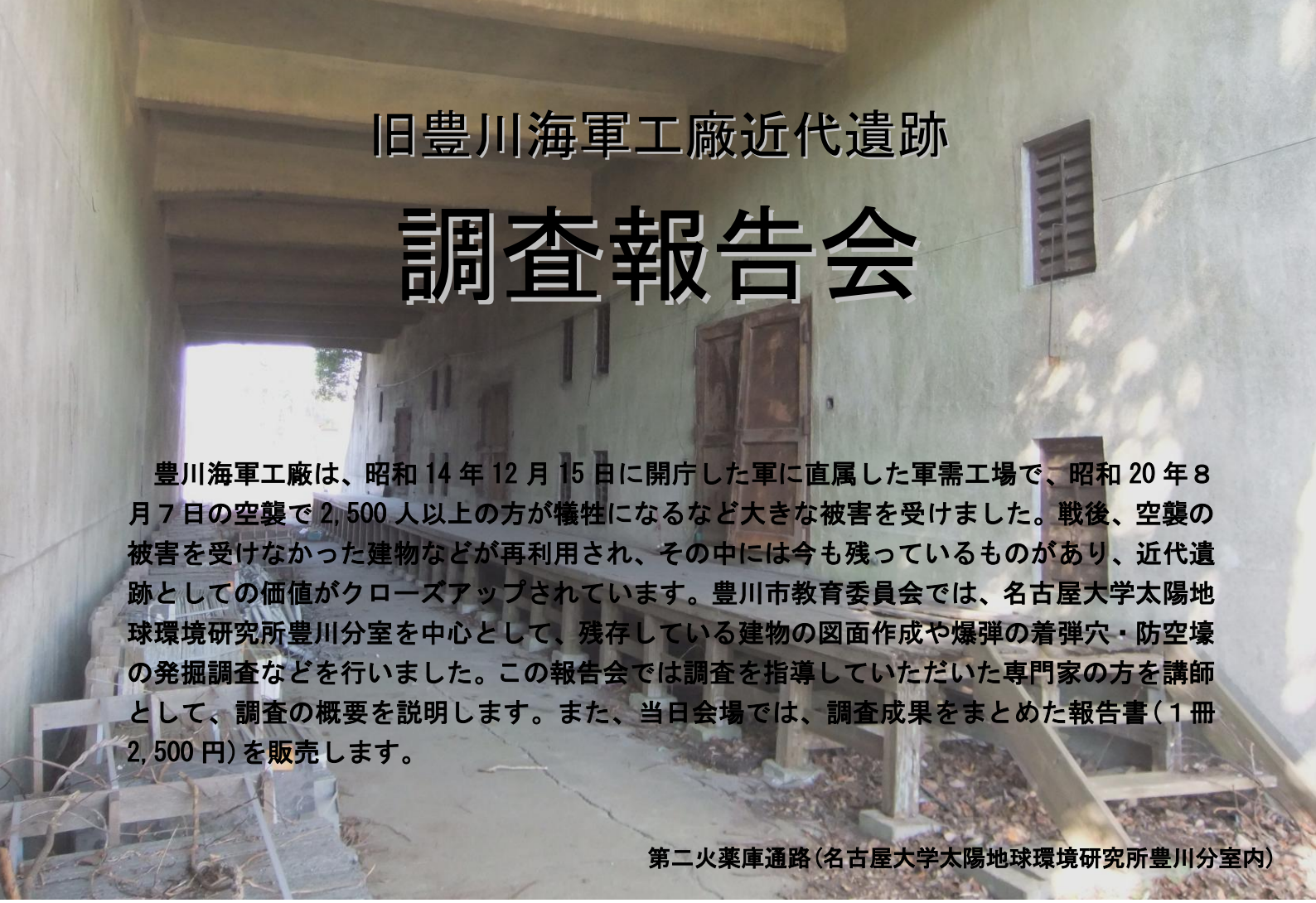

旧豊川海軍工廠近代遺跡

調査報告会

豊川海軍工廠は、昭和14年12月15日に開庁した軍に直属した軍需工場で、昭和20年８月７日の空襲で2,500人以上の方が犠牲になるなど大きな被害を受けました。戦後、空襲の被害を受けなかった建物などが再利用され、その中には今も残っているものがあり、近代遺跡としての価値がクローズアップされています。豊川市教育委員会では、名古屋大学太陽地球環境研究所豊川分室を中心として、残存している建物の図面作成や爆弾の着弾穴・防空壕の発掘調査などを行いました。この報告会では調査を指導していただいた専門家の方を講師として、調査の概要を説明します。また、当日会場では、調査成果をまとめた報告書（１冊2,500円）を販売します。

第二火薬庫通路（名古屋大学太陽地球環境研究所豊川分室内）

◆期　日　平成23年11月６日（日）　午後１時30分から
◆会　場　豊川市勤労福祉会館大研修ホール
◆入場料　無料
◆定　員　３００人（当日、先着順に受付）
◆手話通訳・要約筆記を行います。

【報告会内容】

13:30～　主催者あいさつ
13:35～　豊川海軍工廠の沿革
（平松弘孝：豊川市教育委員会生涯学習課文化財係）
14:00～　名古屋大学太陽地球環境研究所豊川分室構内の建造物等について
（西澤泰彦氏：名古屋大学大学院准教授）
14：45～15:00　休憩
15:00～　豊川海軍工廠の防空関連遺構について
（伊藤厚史氏:名古屋市見晴台考古資料館学芸員）
15:30～　豊川海軍工廠設置に伴うインフラ整備及び残存機械類について
（天野武弘氏：愛知大学中部地方産業研究所研究員）

【会場案内】

●交通機関
名鉄豊川線:諏訪町駅下車徒歩約5分
豊橋鉄道バス:心道教前バス停下車徒歩約5分

【豊川市勤労福祉会館】
〒442-0878 豊川市新道町１丁目１番地の３
℡０５３３－８４－６５１５

主催：豊川市教育委員会

問合せ先：豊川市教育委員会生涯学習課　〒441-0292 豊川市赤坂町松本250番地
℡：0533-88-8035　FAX：0533-88-8038　E-Mail：gakushu@city.toyokawa.lg.jp